

第4回伊勢市郷土資料館基本計画策定委員会 議事概要

〔日 時〕 令和6年3月25日（月）午後1時30分～午後3時

〔会 場〕 伊勢市役所本庁東館4階 4-2 会議室

〔出席者〕 <委 員>全委員出席（7名）

<関係者>株式会社トータルメディア開発研究所

<事務局>情報戦略局次長、文化政策課長、同課長補佐

〔議事概要〕

1. あいさつ

委員長あいさつ

2. 説明事項について

・観光客の推移（資料1）

<事務局>

前回委員会の補足資料として提供

・市民アンケートの実施（追加資料）

<事務局>

伊勢市LINE公式アカウントを利用し、4月上旬の1週間で実施したい。登録者約27,600人が対象。9つの設問を設定。

・今後のスケジュールについて

<事務局>

基本構想・基本計画（案）のパブリックコメントを6月末からの実施を予定。そのためには、本日と4月の委員会で事業計画の内容をまとめる必要がある。ご協力をお願いしたい。

3. 審議事項

・基本計画について（資料2）

<質問・意見と応答>

・この展示で何を見せるのか。伊勢の展示構成、来館者に何を見せるのか。

⇒まず神宮鎮座のまち。それが故の様々な特徴的な歴史文化。ただし、神宮そのものを扱うつもりはなく、神宮のある伊勢の町の成り立ちが中心になる。

・「神宮鎮座のまち」という表現を改め、「お伊勢参りと共に発展した町」としてはどうか。

・「災害の記憶」というテーマは必要か。

⇒主に市民に向けたテーマとして考えている。明応の地震から始まり昭和まで、地震以外にも台風・水害を含めて、今につながる、これからに向けてのテーマと考えている。

・展示は市民に見せるのか、市外から来た人に見せるのか。郷土学習だと市民。学校の役

に立つのかという基本的なところも考えなければならない。

⇒学校に使ってもらうには、「古代の伊勢」と「昔の道具・昔の暮らし」。各学校とも教科書の進み具合は大体一緒なので、その時期にその内容の展示をして対応することも想定している。

- ・戦災がない。これも大事な記録。
- ・市内の各エリアが展示に反映されるよう配慮した方が良い。
- ・どこの資料館も小学生にも分かりやすい展示を掲げるが、現実的に何年生にとって理解できる展示とするかを考えておく必要がある。
- ・ハンズオン展示という言葉が展示計画で出てくるが、具体的にこのコーナーにこんなものを入れたいというものがあるか。早めに検討をし、何を伝えたいのかをしっかり考える必要がある。そうしないと、ただ触るだけになってしまう。樹木、樹幹、葉っぱの標本の例は結構あるが、歴史系は難しい。

⇒具体的な検討に至っていない。

- ・郷土資料館の展示を見て、もっと詳しいこと知りたかったら特定のテーマ館へとつながるといった効果もあると思うので、あえて展示の中に少しでも他館のテーマをかぶせるのも一つの方法ではないかと考える。
- ・教育史が無い。
- ・民俗で伊勢方言はなくても良いか。
- ・無料ゾーンの伊勢観光案内は、ただの観光案内所になってしまうと博物館らしくない。
- ・1階のホールや会議室と2階多目的ルームの使い方は何か違うのか。

⇒1階は多用途に市民に使っていただくためのスペースであるため、資料館の都合で優先的に使えるものにはならない。そのような点で2階の多目的ルームがますます必要。多目的ルームで収まらない取組を行う場合は、一般市民と同じように1階の貸館スペースを申請して使用することとなる。

- ・収納場所が少なそうだが、実務的に大丈夫か。

⇒現在の計画上、施設内では事務室のみ。

- ・多目的ルームを貸し展示室として利用することも想定しているのか。

⇒多目的の一つとしてそういう利用も想定する。